

住まいのマネージメントはSDGsで地球環境に貢献！

猛威をふるう変異型コロナウイルス感染症により、巣ごもりの連休をお過ごしのことと存じます。

その中、住宅業界では「ウッドショック」と言われる「木材が足りない！」という現象が発生しています。

その原因は、①アメリカの住宅市場が活況のため、輸入木材が高値となり、日本に入ってくる量が減少し、②輸入木材を運ぶコンテナが世界的に不足し、③コロナ禍の影響によりコンテナの荷揚げ等を担う人材が不足している為です。

ウッドショックにより、プロ御用達のホームセンターでも品薄となり、これまで即日対応が可能であった軽微な補修・修繕工事が、材料調達に2〜3日から数日、材料によってはそれ以上、日数を要する可能性もあると言われていています。

急な補修等で慌てない為にも、日頃から住まいの気になる箇所があれば、早めに「点検登録店」に相談し、計画的なマネージメント（維持管理）を行いましょう！

さて、日頃、皆様が行っている住まいのマネージメントが、地球環境に貢献しているという、明るい話題をご提供致します。

今、SDGs（エスディーゼズ：持続可能な開発目標）を実践するにあたっての考え方、方法論についての本を読んでいます。

本の「SDGsの取り組みの記録の作成と活用」という章の中に、「SDGsの取り組みを ①記録する、②見える化する、③見せる化することで、④第三者の評価に繋がる。」とありました。

これは、センターが推進する住まいのマネージメントを行う上で必須の「①住まいの点検を実施し、記録を付ける。②記録を1ヵ所にまとめ、リスト化して、いつでも取り出せるように保存（見える化）する。③定期的に点検を実施して前回の記録と比較し、不具合や気になる点は「点検登録店」等の専門家に相談し、補修が必要であれば早期に工事を実施（見せる化）する。④それにより、住まいがきちんと手入れされていると分かり、第三者（買主等）の評価に繋がる」と、同じサイクルだと気付きました。

ご存じのSDGsは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」で、17のゴール（目標と課題）と169のターゲット（具体的な達成基準）から構成され、最近ではマスコミでも良く目にし、大企業だけでなく工務店業界や小学校から大学の学校関係でも盛んに取り上げられています。詳しくは外務省ホームページをご確認ください。

●外務省ホームページ <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>

私たちの日々の住まいの丁寧なマネージメントが、SDGsの持続可能な開発目標に合致し、地球環境に貢献していると思うと嬉しくなり、ますます住まいに愛着が湧いてきます。

<追伸>

ほぼ全国に生息のヤマトシロアリの羽アリは、4月から5月頃の暖かい日の午前中に飛び出すと言われています。怪しい羽アリを見かけた時は、早めに点検登録店 又は センターにご相談ください。

以上（文責Y）

<賛助会員様の情報提供>

<https://www.jfd-gr.co.jp/> 地盤調査・改良工事のエキスパート（株）JFD エンジニアリング

<https://kitoiro.com/> 無垢の木に様々な色や柄を特殊塗装「kitoiro」-（株）ウッドワン

<https://www.woodone.co.jp/product/kitchen/> 木を育てている会社を作る、木のキッチン！-（株）ウッドワン

※ 維持保全計画、点検の実施についてのご質問、ご不明の点は、事務局までお問合せください。

※ 「登録住宅いえるて」については、ホームページをご覧ください。 <http://www.holsc.or.jp/iekarute/>

※ 「登録住宅いえるて」WEBの「住宅所有者ID」をお忘れの方や不明の方、ご質問や資料をご希望の方、「担当の点検登録店」がご不明の方は、info@holsc.or.jp へメールをお願い致します。

※ センターのブログ、Facebook も是非ご覧ください。

● ブログ <http://www.holsc.or.jp/information/blog/>

● Facebook <https://www.facebook.com/一般社団法人-住宅長期支援センター-265533456815676/>

※ お住まいのご質問や相談、空き家の管理や活用の電話相談を承っています。

※ 自治会や子供会等へ「住まいの出前講座」をお受けしています。イベント企画にご利用ください。

※ このメールマガジンをご希望、又は不要の場合は、info@holsc.or.jp へご連絡をお願い致します。